

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	株式会社 協和企画	本社所在地	東京都
業種	医療、福祉	総従業員数	97名
事業概要	医薬領域を専門とするコミュニケーション・エージェンシー（広告・出版・コンベンション・データ事業などを併せ持つ）		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務制度規程
テレワーク担当部署	経営企画本部 コーポレート部
テレワーク対象者	役員・社員・契約社員 全員
実施者数	97名
平均実施日数	月4回以上8回未満程度（概ね週1～2回）

テレワークの導入・拡大の経緯

かねてより裁量労働制を採用しており、フレキシブルな働き方の素地のある会社でした。しかし一方で、長時間労働といった事象も散見され、生産性にも課題がありました。親会社であるインテージグループの施策を受け、2019年5月より正式な制度として「テレワーク制度」「フルフレックス制度」を導入。時間と空間に縛られない、生産性の高い働き方の追求を始めました。経営層による講演会等で社としての導入意義を伝えると同時に、定期アンケートや社員同士の意見交換などを通じ、ひとりひとりの社員にとって、十分なメリットを実感として感じることができる活用方法の習得に力を注いでいます。

テレワークの概要・特徴

全社員を対象に、場所を特定せず働くことができる制度を採用し、オフィス以外、自宅や客先・外出先などでの業務が可能となりました。業務開始・終了時刻を自由に設定できる「フルフレックス制度」と併せて、より柔軟性の高い働き方の実現を目指しています。

導入に際しては、定期的なアンケート（1ヵ月後/3ヵ月後/6ヵ月後/1年後）で導入過程の“見える化”を心がけ、具体的な課題の抽出・対応を可能にしています。先に導入実績のあるグループ各社の事例を参考にしながら、社員各々がめざす「理想の働き方」を議論する機会なども設け、社として意義のある働き方の具体化を目指しています。

残業時間管理等はこれまで同様に行い、問題のある社員については上司との話し合いを設け、是正を促しています。最悪のケースでは、制度利用の一時中止も行われ、不要な残業の抑制に努めています。

ほぼすべての業務がテレワーク可能であるため、今後一層の活用推進による生産性向上やQOL（生活の質）向上に期待しています。

テレワーク導入の効果（経営にもたらした効果、その他効果）

●QOL（Quality of Life）の向上

育児・介護・通院などで、業務との両立に困難を感じていた社員にとって、工夫次第での両立可能性が広がりました。時差通勤、営業の合間などの細切れ時間の活用が進み、働き方に対し、社員の自律性・創造性が引き出されています。

●ICTを介したコミュニケーションの活性化

SSO（Single Sign On）による業務リソースへのアクセス、スマホでのスムーズな情報確認・決裁など、セキュリティの確保とスピーディーな業務遂行の両立が可能となっています。テレワークを意識して、ICTを通じて従来とは異なった形での丁寧なコミュニケーションが増え、情報共有も促進されています。

●多様な逸材の採用

テレワークに代表されるフレキシブルな働き方のベースを有していることは、新卒採用でも、魅力として受け取られています。また、働き方のバリエーションが広がったことで、オフィスへの通勤が困難な方など、これまでは採用の対象とならなかった方々の雇用拡大にもつながる可能性が見えてきました。